

世界の地域から



↑ブルネイ1の規模を誇る、ジャミヤシル・ハサニル・ボルキア・モスク(ニューモスク)

ブルネイ・ダルサラーム国

「永遠に平和なブルネイ」という意味を持つブルネイ・ダルサラーム国。熱帯雨林に覆われたボルネオ島北部に位置し、北には南シナ海、南にはマレーシアのサワラク州に接し、国土は三重県ほどの大きさ。石油や天然ガスなどの豊富な天然資源に恵まれており財政も豊かで、給料水準は東南アジア1です。所得税はなく、医療費・教育費も無料で、福祉も行き届いています。

世界一の金持ちと評される国王の住む王宮はバチカン宮殿をしのぎ世界最大で、中には1,788の部屋があり、スタッフは1,100人。4,000人収容可能なバンケットルームもあります。

国土の半分が熱帯雨林に覆われているため、森のトレッキングで野生動物を観察したり、川の上タクシーでマングローブ探訪をしたりと自然に触れる機会も多くあります。



Brunei Darussalam



↑現在のボルネオ国王即位25周年に合わせ、8年の歳月をかけて建てられたこのニューモスクは大理石造りで、本堂と中央のドームは純金製です。旅行者も本堂に入ることができます



←ロイヤル・レガリアは王室関係の行事に使われる品々や、豪華絢爛な金銀製品といった王家の財宝を展示している博物館です。館内は厚いじゅうたんが敷き詰められているので、靴を脱いで入場します



↑オールドモスクの目の前にある巨大ショッピングモール、ヤヤサン・コンプレックス。この地区では最も人気のあるショッピングスポットです

←ブルネイ川を見下ろす高台に建てられた王宮。国王の住居でもあり総理府の官庁でもあるこの建物は非公開ですが、「断食明け大祭」の3日間だけ一般公開されます。入殿者にはごちそうが振る舞われ、男性は国王と王子たちの部屋へ、女性は王妃と王女たちの部屋へと案内され、王族が訪問者すべてにお声をかけてくださいます



◀前国王である第28代オマル・アリ・サイフディンの名が冠されているブルネイで最も美しいモスクの一つとされるオマル・アリ・サイフディン・モスク(オールドモスク)。1958年に完成し、総工費は国王の私財とイスラム教徒の寄付によって賄われました。イタリアの大理石、ベルギーやアラビアのカーペット、イギリス製ステンドグラスな世界各国から取り寄せられた最高の素材がふんだんに使われたぜいたくで壮麗なモスクです

↓前スルタン(国王)の墓



➡ブルネイ川の上に作られた世界最大のカンボン・アイール(水上集落)。約3万人もの人々がここで生活しています。この水上集落内には、学校や病院、消防署、警察署もあり電気もひかれており、何不自由のない近代的な生活を送っています



↑水上タクシーは水上集落で生活する人々に欠かせない交通手段



↑カンボン・アイールよりオールドモスクを臨む

→ガラスの原料「シリカ」。天然資源にも恵まれているこの国ならではの風景です

↓1929年に初めてブルネイで石油が発掘されました。現在でもセリア地区全域で石油発掘が行われています



←ガドンのセンターポイントと呼ばれる高級ホテルの前には庶民的なお店が軒を連ねています



↑ウルトウンブロン国立公園ではキャノピーウォークが体験できます。空中回廊を歩き森の上から5万haの大自然を味わってみませんか？



←ブルネイの伝統食「アンブヤ」。サゴヤシのでんぷんに熱湯を加えながら混ぜたもので、固まる前のコンニャクに似ています。チリソースやカレーにととてもよく合います